

# H29 年度 教科構想シート

## 英語科における主体的な学びとなる子どもの姿（1 学年⇒3 学年）

①コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする生徒	①コミュニケーションに関心を持ち、自ら考え積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする生徒
②外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現しようとする生徒	②あらゆる場面設定で外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現しようとする生徒
③外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解しようとする生徒	③あらゆる場面設定で外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解しようとする生徒
④外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しようとする生徒	④外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを積極的に理解しようとする生徒

## 教科における主体的な学びのための教師の捉える場面（●）とその手立て（○）

課題発見・解決学習	【課題の設定】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本と外国の言語や文化、生活環境の違いについて、気づかせる場面</li> <li>●ネイティブと実際にコミュニケーションをとることを想定させる場面</li> <li>●あるテーマについて自分の意見を書かせる場面</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分自身の生活に置き換えたり、身の回りのこととしてとらえたりさせるようにする。</li> <li>○相手を実際に設定し、目的意識をもたせる。</li> <li>○文法のミスにこだわらず、一定量を書かせる。○字以上書けたことを評価する。</li> </ul>
	【情報の収集】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分自身や周りのことについて英語で表現するために、必要な文法事項を提示する場面</li> <li>●表現したいことについて、日本語でメモを書かせる場面</li> <li>●英文で書かれた記事や文章を読んで、必要な情報を収集する場面</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○主語・動詞に線を引かせたり、「いつ」「どこで」「何を」したのかを明確にする。</li> <li>○ブレインストーミングやマッピングで考えを膨らませる。</li> <li>○辞書を活用させる。</li> </ul>
	【整理・分析】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習した文法事項を使って、自分自身や周りのことについて英語で表現したり、意見を述べたりする場面</li> <li>●英文を読んで、パラグラフごとの要約をさせる場面</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語と日本語の語順の違いを意識させる。</li> <li>○既習事項とのつながりを考える。</li> </ul>
	【まとめ・創造・表現】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●整理・分析した情報をもとに、自分自身のことなどについて英語で表現する場面</li> <li>●段落ごとの要約をもとに、英文全体の要約を英語で書く場面</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団思考やペアチェックを交え、読みやすさなどの観点から、表現した内容や構成について再考する場面を与える。</li> <li>○パラグラフごとのキーワードを見つけさせる。</li> </ul>	
【実行】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既習事項を用いた英文を、日常生活や英語話者相手に実際に使う場面</li> <li>●その場に応じた表現ができる場面</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○その場にふさわしい表現ができるようにさせる。</li> </ul>	
【振り返り】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自己表現ができたか振り返る場面</li> <li>●相手の意見を聞いて自分を振り返る場面</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章でまとめさせる。</li> <li>○自分の意見を発表する場を設定する。</li> </ul>	
【協同学習】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ペア・グループ学習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・英作文</li> <li>・英語の問答</li> </ul> </li> <li>●英語クイズ</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どの生徒も活動に参加（発言など）できるように配慮する</li> <li>・学習リーダーを活用する。（役割分担等）</li> <li>・その活動に必要な文法の基本事項を定着させておく。</li> <li>・ヒント集など手がかりになるものを準備しておく。</li> </ul>	

各教科における設定した資質・能力を育成するための手立て			頻度 ◎○○△
資質・能力	資質・能力の定義	教科で育成するための手立て	
知識・技能	①学習したことを自ら語る力 (知の構造化)	・自分の作った自己表現のポスターを提示して、「自分はこの考えに賛成／反対だ。その理由は①～～、②～～、③～～だからである。」と理由をつけて述べさせる。 (英文では”I am for the idea. The reason is 1st, ~~, 2nd ~~, 3rd ~~.”)	◎
思考力・判断力・表現力	①根拠をもとに、正しい判断をする力 (論理的思考力)	・「○○である、なぜなら・・・だから」と根拠をつけて述べさせる。 (英文では”It is ○○ because ~~.”という文で表現させるなど) ・帯活動のペアの Q&A 内で、相手の意見を相づちを入れつつ聞いたり、自分の意見を述べたりさせる。	◎
	②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力 (批判的思考力)	・ペアやグループで意見交流をさせ、相手の意見を受け入れ、自分の意見との違いを見つけさせる。 (英問英答・グループタスク活動など)	○
	③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力 (言語力)	・効果的なプレゼン方法を指導し、実際にプレゼンをさせる。 (結論先行型、ナンバリング、ジェスチャー、視覚機器など) (英問英答・自己紹介など)	◎
主体的に学ぶ力	①自ら課題を見だし、解決しようとする力	・自分で課題を見つけ、その解決方法を既習事項を使って見つけ出し、実行させる取組をする。	◎
他者とかわる力	①他者と協力(協働)し、課題を解決しようとする力	・グループタスク活動を取り入れ、他者と協力しながら活動を進めるような取組をする。	○
	②他者とのかわりを通して、自らの考えを深めたり広げたりしようとする力	・グループワークで、まず自分の意見を準備し、他者と意見をシェアしながらグループとしての意見をまとめる。	◎
社会貢献力	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	・地域の観光地や良さを既習の英語で表現する。 ・自分のお気に入りの場所をまとめた英文で書く。	◎
		・総合的な学習とリンクさせ、地域の問題や私たちにできることを英語で表現させる。	△
自己形成力	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力	・難易度を変えるなど問題の出題方法を工夫する。 ・評価基準を明確にし、A基準を目指して努力しよう声かけをする。	◎
	②自信を持つ力	・スモールステップで指導していく。 ・自分の意見や考えを発表する場面を多く設定し、場に慣れさせる。 ・少し難しい課題に取り組みせ、練習を繰り返させ、達成感を与える。(グループ活動・プレゼンテーション)	○